

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第14号
令和5年9月7日 文責：有内 弘

9月は前期のまとめ・学びの振り返りで学ぶ力UP

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

夏休みが明けて約2週間程になりますが、大変暑い日が続いています。

学校では熱中症対策としまして、子どもたちには〇規則正しい生活のリズム〇水筒持参〇ぼうし持参を指導しています。また学校全体では、暑さ指数を1日5回測定し、31以上（原則運動は中止 環境省）の場合は運動場での体育や遊びを控えています。実際に体育が実施できる時も、途中での水分補給や日陰での休憩なども取り入れています。子どもたちの安心・安全を第一に考え、教育活動を進めているところです。

9月は前期のまとめの時期です。4月から7月に学習したことや夏休みに学んだことなどを振り返り、着実に身に付け、まとめをする時期ということになります。

「勉強した?」「宿題はした?」ではなく、「さあ、何から始める?」と声かけをすることで子どもに意思決定をさせてみてください。（そう簡単にはいかないかもしれませんが）自分で決めたことはやろうとする主体性が生まれます。主体的な行動の積み重ねがよりよい習慣となり、自立へとつながっていきます。

◆めざす子どもたちの学校での様子◆ 【元気いっぱい】



3年生が体育の授業でプレルボールに取り組んでいます。

体育館でボール運動（プレルボール）をやっています。相手コートにボールを叩いてバウンドさせて入れる球技です。

【温もりのある】



ねん土を使って自分が作りたいものを決めて、作品づくりをしています。今にも動き出しそうな恐竜（きょうりゅう）の作品ができあがっていました。すばらしい、見事な作品でした。

4年生が図工の学習で、ねん土を使って作品づくりに集中して取り組んでいます。

【誇れる+夢の実現】



実際に1リットルますを使ってバケツに何杯入るかを試して確かめた2年生。自分たちで、すぐ目の前でやってみる大切さ（具体物で学ぶ）を感じました。実体験は、子どもたちの学ぶ力に直結しそうです。

2年生が算数の学習で、かさ（後に体積）の勉強をしています。バケツのさは何リットルになったでしょうか？

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名 「天気と気象の事典」
～空のギモンがまるわかり～
気象に関する「なぜ?」がすっきりわかる。空が青いのはどうして?線状降水帯ができるのはどうして?温暖化で雷が増える?台風はどうやってできる?
著者 武田康男 発行所 株式会社永岡書店

